

(1) 保存地区の概要

●地区名：神戸市北野町山本通

●種別：港町 ●面積：約9.3ヘクタール

●選定年月日：昭和55年4月10日

《特徴》

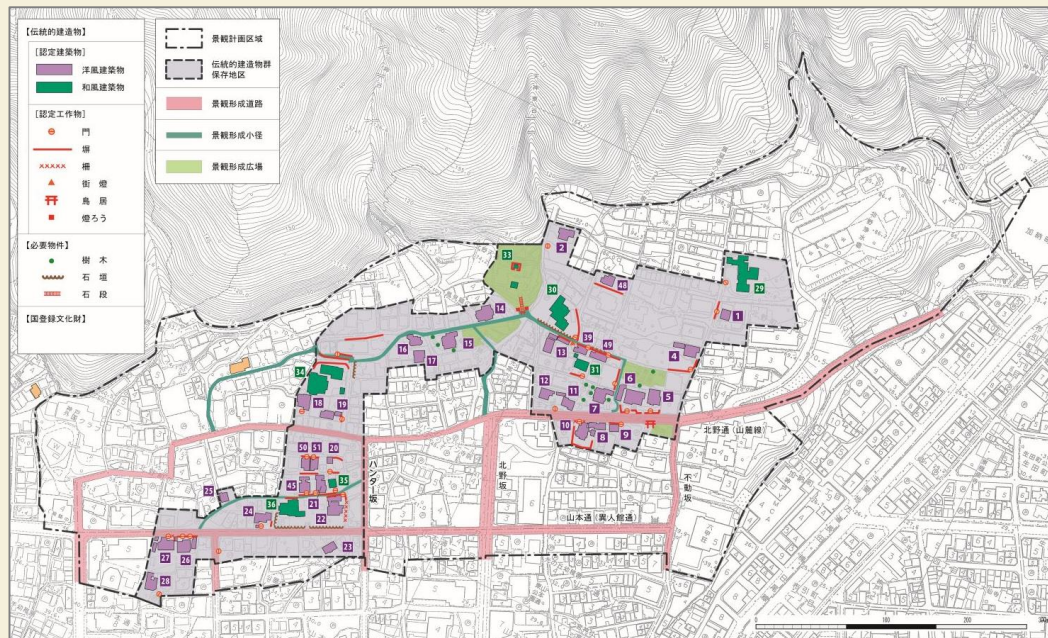
六甲山の南麓に広がる北野町・山本通は、外国人居留地を補完するため、明治時代に開発された住宅地の1つで、保存地区はかつての山手雑居地の一部にあたる。

国重要文化財の旧トーマス住宅や小林家住宅をはじめとして、30件近くの異人館と呼ばれる洋風建築が点在し、さらに明治末期から昭和初期までに建てられた良質な和風建築も共存している。

伝統的建造物：建築物 65棟(洋風51棟、和風14棟)
工作物 67件(門・塀・柵・街燈など)
必要物件 8件(樹木・石垣・石段など)

国重要文化財：2件

国登録文化財：1件



神戸市北野町山本通 都市景観形成地域・伝統的建造物群保存地区

(2) 保存地区のあゆみ

- 昭和38年度(1963) 旧ハッサム住宅・旧ハンター住宅を地区外へ移築保存
- 昭和50年度(1975) 北野・山本地区伝統的建造物群調査(文化庁／保存対策事業)
- 昭和51年度(1976) 異人館修理助成(市単独事業～55年度)
- 昭和52年度(1977) 北野・山本地区の景観及び異人館等の保全に関する提言
NHK朝の連続テレビドラマ「風見鶏」の放映、観光ブーム
- 昭和53年度(1978) 神戸市都市景観条例の制定
重要文化財／旧トーマス住宅(風見鶏の館)の公開
- 昭和54年度(1979) 都市景観形成地域・伝統的建造物群保存地区の決定
- 昭和55年度(1980) **『重要伝統的建造物群保存地区』選定**、修理・修景事業の開始
- 昭和56年度(1981) 地域活動団体を景観形成市民団体に認定
- 平成6年度(1995) 阪神・淡路大震災、伝統的建造物等の災害復旧(～平成9年度)
- 平成24年度(2012) 防災計画の策定
- 平成29年度(2017) 伝建地区建築基準法の制限の緩和に関する条例の公布



景観形成道路(山本通)

(3) 保存地区の保存と整備

◆ 保存の方向

保存地区を包含して「都市景観形成地域」(約32ha)(平成18年、景観法に基づく「景観計画区域」に移行)を指定し、洋風や和風建築物等の歴史的遺産を保存し、神戸らしい国際性に富んだ歴史的環境をまもり、そだてていく。

住宅環境と調和した多面的な魅力を持った町として、発展していくことをめざす。

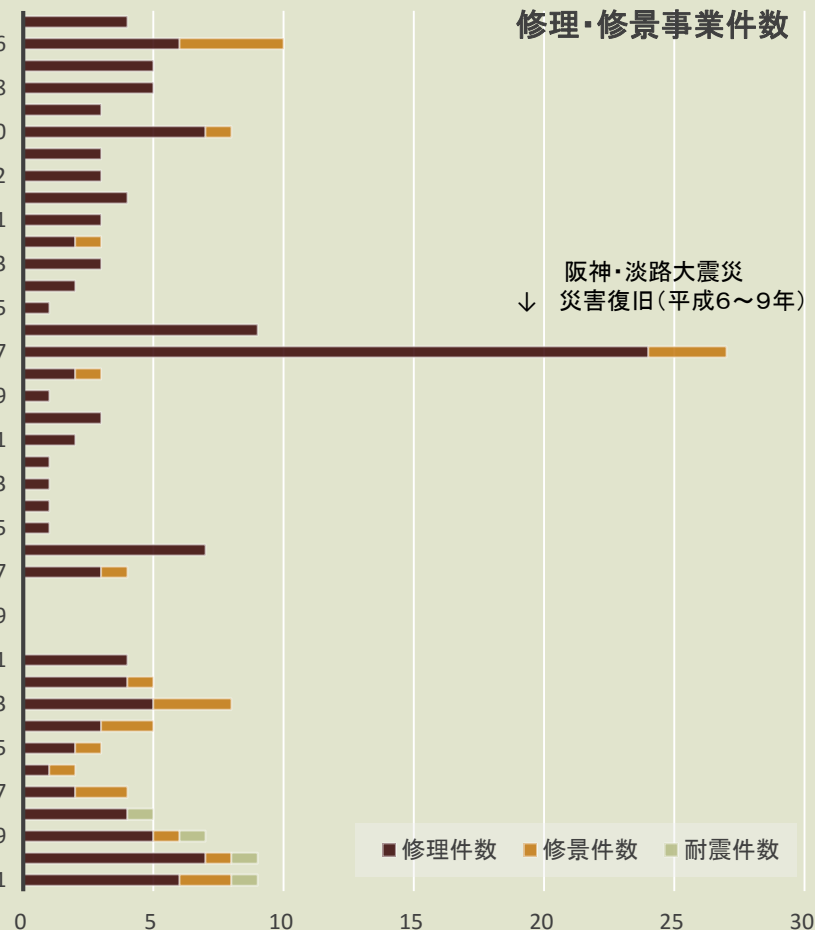


景観形成道路(北野通)

修理・修景事業件数

阪神・淡路大震災
↓
災害復旧(平成6～9年)

■ 修理件数 ■ 修景件数 ■ 耐震件数



◆ 阪神・淡路大震災による伝統的建造物等の災害復旧(平成6～9年度)

全ての伝統的建造物に被害が及び、特に洋風建築物では、煙突の折損・落下、屋根瓦の落下・ずれ、軸部や屋根の損傷、漆喰天井や内壁の剝落等の被害があった。

文化庁の修理方針をもとに、地元や各地方の建築家グループ等の協力により、伝統的建造物等の復旧と耐震対策を実施している。

◆ 地区の防災計画(平成25年策定)

歴史的遺産を保存しながら、安全なまちづくりをすすめるため、ハード・ソフト両面から防災対策を検討し、具体的な取組みを進めている。

平成26年度より、伝統的建造物敷地内への簡易水道消火装置と放火監視機器等の設置助成を実施している。

◆ 地区建築基準法の制限の緩和に関する条例(平成30年施行)

伝統的建造物等の大規模修理を行う際に、代替えの安全対策等を行うことで、建築基準法の緩和を行う。

(4) 保存地区の活用とまちづくり

昭和52(1977)年のNHK朝の連続テレビドラマ「風見鶏」の放映を機に、全国から多くの観光客が訪れるようになり、神戸の主要な観光地の一つとなっている。

《平成30年度 観光入込客数》 神戸市経済観光局調べ
全市で3,538万人のうち、北野エリアは約138万人
入館者数／ 風見鶏の館 25.6万人
北野工房のまち 1119.3万人

◆地区内・周辺の公開施設(内部公開、カフェ など)

国重要文化財 2件、国登録文化財 3件、
伝統的建造物 8件、その他 3件(うち、市所有3件)

◆ブライダル都市・神戸としての展開

地区にはブライダル施設が集積し、和風・洋風の伝統的建造物等を活用して、周辺の宗教施設と連携した結婚式やパーティ、街なみを背景にした写真撮影などが好評。

◆夜間景観の演出(北野クリスマスストリート など)

風見鶏の館などの洋館を、夜間にライトアップ。
クリスマスをはさんで、冬季には北野坂の街路樹にイルミネーションが施され、北野の冬の風物詩となっている。



北野坂



国重要文化財／旧トーマス住宅
(風見鶏の館)
昭和53年に市が取得
指定管理 有料公開



伝統的建造物／旧ドレウエル邸
(ラインの館)
昭和53年に市が取得
指定管理 無料公開
地区の案内センター・観光客向けトイレ

◆地区周辺の閉校した小学校を活用し 観光拠点として整備

「神戸ブランドに出会う体験型工房」としてオープン。旧校舎内で土産物の買物やクラフト体験等ができる。旧講堂は集会施設、旧校庭は、大型観光バスの駐車場や地域イベント等に利用されている。



北野工房のまち
(旧 北野小学校)
平成10年にオープン
市が管理運営事業者を公募し、
土地建物を賃貸

◆「神戸フィルムオフィス」等と連携し、映像ロケ地に。

洋館や北野町広場、北野坂など、様々な映画やドラマの撮影に協力。映画「少年H」、NHK朝の連続テレビドラマ「べっぴんさん」等

(5) 住民等の取組

◆ 北野・山本地区をまもり、そだてる会 (神戸市認定／景観形成市民団体)

(昭和56年設立) 地区内の自治会、婦人会、事業経営者組織等の代表者で構成
地区のもつ歴史的環境をまもり、そだて、観光・商業との調和を図りながら、
この地区を住みよい個性豊かな住宅地としての健全な発展をめざしている。

○計画づくり 「北野町・山本通まちづくり計画」(昭和63年策定)等

○マイナス面をなくす実践活動

- ・クリーン作戦(昭和56年～毎月1回) ・ノースモーキングゾーンの設定(昭和58年～)
- ・迷惑看板等をなくす活動(平成2年～)

○プラス面を伸ばす実践活動

- ・花と緑を増やす運動(平成4年～) ・北野・山本町並みフェスタ(平成元年～平成18年)
- ・「インフィオラータこうべ『北野坂』」の開催(平成9年～)
- ・異人館基金の創設活動(平成7年～) ・伝統的建造物の銘板設置(平成9年)
- ・インターナショナルオリーブアカデミー神戸の活動

オリーブフェスタの開催

文化遺産を生かした地域活性化事業(文化芸術し振興費補助金)による「神戸阿利襷園」発行

- ・国際交流 イタリア・ジェンツァーノ市との交流(平成15年より)、パリ・モンマントル地区との
友好提携(平成17年より)、ベトナム(ホイアン・カイベ)伝統洋館群保存地区との
交流(平成29年より)



インフィオラータこうべ『北野坂』
市民ボランティアが花絵を作成
(毎年GW期間中に開催、約30万人が来訪)

◆ こうべ北野町山本通伝統的建造物保存会

(平成22年設立) 伝統的建造物の所有者、管理・運営者で構成
伝統的建造物の保存と活用の推進、会員相互の交流・親睦を主な目的とする。

○会員相互の交流

- ・総会(1回/年) ・見学会や研修会(不定期開催)

○活用の推進

- ・トークイベント「北野むかし語りー神戸開港秘話ー」第1弾・第2弾(平成28年)
- ・旧北野村及び神戸港開港後の北野町の歴史書「北野『雑居地』ものがたり」発行(平成30年)
- ・3回連続トークイベント(平成30年)



伝統的建造物の銘板設置